

秋から冬は空気の乾燥する季節 ～火の取り扱いに十分注意しましょう～



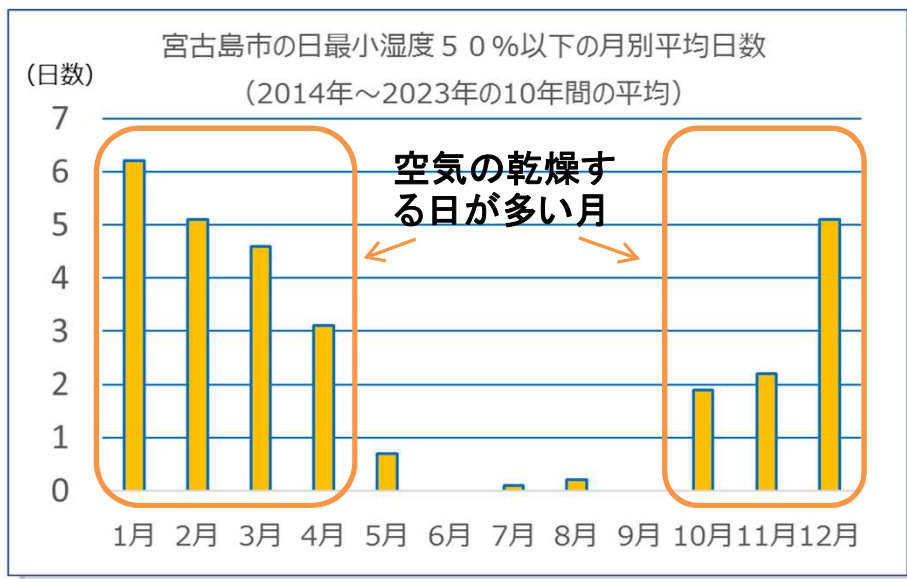
昨年、宮古島地方で**46件**もの火災が発生しており、今年の2月には、サトウキビ畑で**3週連続**火災が発生しました。
気象台では、空気が乾燥し火災が発生する危険が大きいと予想される場合に、**乾燥注意報**を発表して住民の皆さまに注意を呼びかけています。自分や大切な人の命を守るため、**これからの季節、火の取り扱いには十分注意してください。**

※昨年の火災発生件数は宮古島市消防本部より提供

●宮古島地方の乾燥注意報の発表基準

最小湿度50%以下で、実効湿度※60%以下と予想される場合に発表します。

(※実効湿度：木材の乾燥の程度を表す指数で、数日前からの湿度を考慮に入れて計算した湿度のこと)



上のグラフは、2014年～2023年の10年間で、宮古島市における日最小湿度50パーセント以下の月別平均日数です。10月から翌年4月までは空気の乾燥する日が多いことが分かります。火災の原因としては、ガスコンロの消し忘れや、タバコの火の不始末をよく耳にしますが、**宮古島地方ではサトウキビ畑での火入れ作業時にも発生しています。**

**乾燥注意報が発表されているかを確認して
火の取り扱いに一層の注意をしてください。**

